

町内会では、回覧をお願いします。

保険を考える

生命保険や損害保険は、もしもの事態に金銭的に備えることを目的にした金融商品です。保険選びは、自分や家族がどんな事態に備えるべきなのか、またそのためにどれくらいのお金が必要なのか、と考えることから始まります。万一の場合に必要な金額は、人それぞれに異なります。今号では、自分にあった保険について考えてみましょう。

備えておきたい事態を考える

家族の誰かに何かが起きたときに、どんなことに困るのか想像してください。その人の年齢、仕事をしているか、誰かを養っているか、配偶者や子に収入があるか、自動車や自転車に乗る頻度、持ち家か借家か、けがの可能性が高い趣味を持っているか、なども検討材料になります。備えたい事態を表にしてみました。もちろんこれは一例で、備えておきたい事態やその必要性は一人ひとり違います。ご自身や家族について考える際の参考にしてください。



◎ 必要性高い ○ 必要性普通 △ 必要性低い × 必要性なし

問題に遭う 人の状況 備えて おきたい事態	年 齢	低い  高い				
	・高校生 ・自転車通学 ・運動部所属	・アルバイト ・扶養者なし ・親の持ち家	・正規職員 ・配偶者正規職員 ・借家	・自営業 ・配偶者 パート職員 ・持ち家	・正規職員 ・配偶者無職 ・子1人 ・借家	・無職 ・独身高齢者 ・扶養者なし ・持ち家
死亡（遺族の生活）	△	△	○	◎	◎	△
老後資金	△	△	○	◎	◎	△
介護を受ける	△	△	△	○	○	○
病気やケガの治療	○	○	○	○	○	○
交通事故での加害	◎	◎	◎	◎	◎	◎
火災等の住宅損傷	×	×	○	◎	○	◎
レジャーのリスク	△	△	△	△	△	△

社会保障制度や勤務先の福利厚生で補える範囲を想定する

加入している健康保険の種類や所得によって補われる医療費の金額は異なります。また、自営業なのか、会社員でも正規職員かパートタイム職員かで、退職金に頼れるかどうかが変わります。加入している年金によって遺族年金の内容も異なります。ご自分が加入している社会保障について調べてください。



問題に遭う 人の状況	年 齢	低い  高い				
	• 高校生	• 25歳 • 独身 • アルバイト	• 35歳 • 正規職員 • 配偶者有	• 45歳 • 自営業 • 配偶者有 子15歳	• 60歳 • 正規職員 • 配偶者有	• 75歳 • 元正規職員 • 独身
備えて おきたい事柄						
死亡（遺族の生活）	—	—	死亡退職金 遺族厚生年金	遺族基礎年金	死亡退職金 遺族厚生年金	—
病気・ケガの治療	健康保険	国民健康保険	会社の健康保険	国民健康保険	会社の健康保険	後期高齢者 医療保険
病気やケガで 働けない間の生活費	—	—	会社の健康保険 雇用保険	—	会社の健康保険 雇用保険	—
障害で働けない	(20歳超えたら) 障害基礎年金	障害基礎年金	障害厚生年金	障害基礎年金	障害厚生年金	—
介護サービスの利用	—	—	—	介護保険 (特定の原因のみ)	介護保険 (特定の原因のみ)	介護保険
老後資金	—	国民年金	厚生年金	国民年金	厚生年金	厚生年金

貯金などで補える範囲を想定する

もしもの場合に、貯金などの資産でどの程度のことに対処できるかを考えてみましょう。

保険を選ぶ

万一の場合に、社会保障制度や貯金などで補えない部分があれば、保険商品を検討することになります。自分が必要とする保障内容を保険会社に伝えて、それに合った保険商品を提案してもらいましょう。契約後に後悔しないために、保障の内容や契約期間、保険料について納得できるまで説明を受けることが大切です。契約に際して注意したいことを紹介しますので、参考にしてください。



保険の種類	注意したいこと
生命保険	• 営業員などに健康状態や傷病歴を伝えても告知事項を告げたことにはなりません。保険会社に指定された医師との面談や告知書で、正確に告知しましょう。 • 満期保険金がない定期保険と、満期保険金がある養老保険があります。 • 中途解約した場合に、返戻金があるかどうか確かめましょう。 • 終身保険では、区切りの年齢を過ぎてからは死亡保険金が減額されます。 • 後遺障害特約の対象となる障害の程度は、障害者手帳の認定基準とは異なります。 • 外貨建て商品は為替リスクがあり、見込みどおりの給付額にならない場合もあります。
医療保険	• 対象となる疾病の範囲（ガンの種類や進行度、免責期間を含む）を確かめましょう。
介護保険	• 公的介護保険での介護度認定が一定期間継続していることが支給条件になっています。
個人年金保険	• 変額タイプは、年金総額に最低保証のあるものと、ないものがあります。リスクの説明を受けましょう。
自動車保険	• 主契約に個人賠償責任特約なども併せて、補償内容は適切になっていますか。 • 前の契約と次の契約の間に空白期間があると、等級が引き継がれない保険が主流です。 • 契約中に、自動車の買い替え、使用目的の変更をしたら、保険会社に連絡しましょう。
地震・火災保険	• 補償額は過大だったり、過小だったりせず、適切に設定できていますか。 • 地震保険は火災保険とセットでの契約で、補償額は損害の程度と建物などの時価で決まります。